

# ナノ材料科学環境拠点（GREEN）

～産学が連携し、環境技術の基礎基盤的研究を推進する研究拠点へ～

**Key Words** Research Center Connecting Basic Study with the Industry

## 概要

ナノ材料科学研究拠点(GREEN)は、文部科学省委託事業「ナノテクノロジーを活用した環境技術開発プログラム」(平成22年開始、10年間)を推進しています。地球環境問題を抜本的に解決して持続可能な社会を構築するために、産学が連携して基礎基盤的な研究開発を推進するための研究拠点を構築することを目的としています。

## 多様な連携スタイルを工夫し、産業界における早期の実用化に貢献

GREENは、保有ポテンシャルの産学による活用を進め、得られた研究成果の早期普及を図るために、以下のような多様な連携方式を並行的に実施しています。

- 様々な機会を捉え、産業ニーズの深い理解を得て、それらに共通する基礎・基盤課題を研究課題化する
- そこから得られた成果を紹介し、さらに要望を聴く
- 持参サンプルxGREEN研究ツールによる新成果(公募)
- 個別課題における共同研究の実施(契約)

※さらに「味見」などの新しい連携スタイルについて、早期の実施を目指して検討中です。

## NBCI-NIMS合同連携セミナーの実施状況

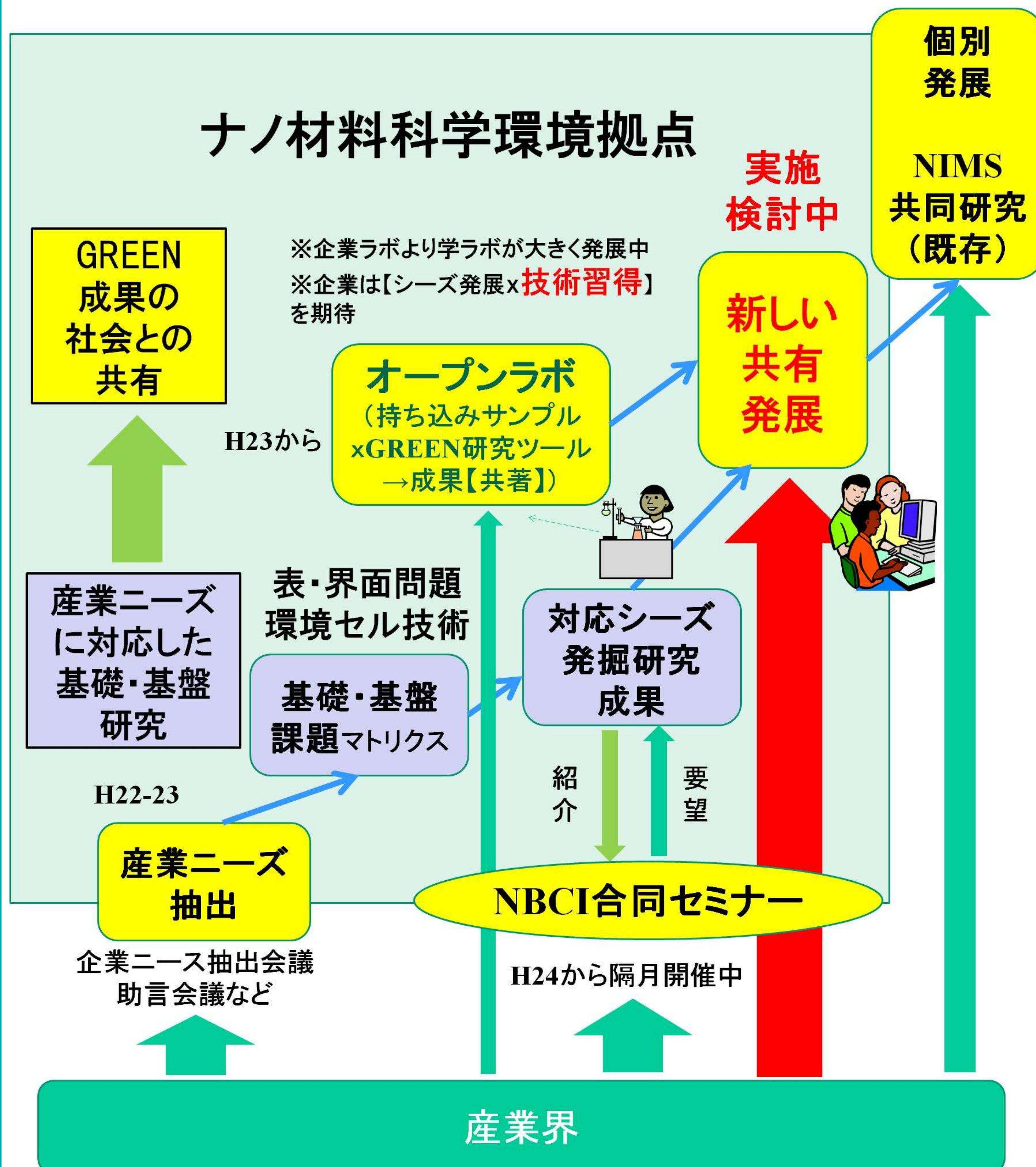
### 【セミナーの目的】

- ①NIMSは、自分たちが進める最先端研究を民間企業に紹介することにより、その最先端研究に対する民間企業のニーズを知る。
- ②NBCI会員企業は、NIMSが進める最先端研究が、自分の仕事に如何に役立つかをイメージする。
- ③NIMSから紹介された研究テーマで興味深いものについては、連携の方法を含めてNIMSと会員企業との連携について考えていく。

### 【特徴および利点】

- 受講者すべてが質問を義務付けられる。他の受講者の質問が思わぬ参考になる。学会等では聞きにくいことも質問できる。
- 受講者は、NIMSの研究者と面識ができることにより、その後のアプローチが容易になる。研究者の話を論文ではなく直に聴けるのも魅力。
- NIMS講演者は、企業研究者から多数の多様な質問を受け、今後の研究の進め方に貴重なヒントを得る。

	開催日	講師	タイトル及び見学設備
1	H24.10.16	宝野和博	三次元アトムプローブ
2	H24.12.19	野口秀典	固/液界面における単分子層の光エネルギー変換過程のその場計測、和周波発生分光法(レーザー)等
3	H25.2.18	三石和貴	透過型電子顕微鏡による2次電池関連材料の観察、試料作製装置、大気遮断ホルダー用小型グローブボックス等
4	H25.4.12	花方信孝	ナノテクノロジー融合ステーションにおけるナノとバイオの融合研究、ソフトマテリアルライン
5	H25.6.14	橋本綾子	透過型電子顕微鏡によるカーボン材料の観察、環境TEM
6	H25.8.23	西川 慶	シリコン単一粒子の充電反応に伴う体積変化の実測、スーパードライルーム
7	H25.10.25	増田卓也	シンクロトロン放射X線を用いた固液界面現象のその場計測、その場計測セル
8	H25.12.9	石田暢之	走査オージェ顕微鏡によるLiの化学状態イメージング
9	H26.2.14	久保佳実	蓄電池プラットフォーム紹介
10	H26.4.21	高田和典	全固体リチウム電池材料の単結晶薄膜化
11	H26.6.26	久保佳実	リチウム空気二次電池の開発状況
12	H26.8.28	久保佳実	蓄電池基盤プラットフォームの見学



## 今後の展望

- 多様でオープンな連携方式の運用
- 必要な研究インフラの活用
- 新分野で活躍する若手人材の育成



ナノ材料科学環境拠点(GREEN) 拠点マネージャー 長井 寿